

① ワイナリー



中に入るとすぐ目の前にパン屋が設置され、そこで様々なパンやワインを頼むことができる。また、ワイナリーからの景観は絶景で観光資源にもなっている。しかし、周辺の地域においてはバスがほとんど通っておらず、看板なども少なかったため交通網や情報網が少なく、行きたいと思ってもなかなか行けないという観光客の悩みも発生している。

② キウイ園



山の麓に都農ワイナリーが所有しているキウイ農園があった。全国で販売されているゼスブリが栽培されている。山が近いこの地域は水が綺麗な上に温暖であるためキウイの栽培に適しているという。都農ワイナリーではこのキウイを使ったワインの販売も行われていた。この周辺にはキウイ以外にもたくさんの果物が栽培されていたため、果物を育てやすい土地なのだと感じた。

③ 行信寺



とてもひっそりとした雰囲気大きな杉の木が並んでいる森の中にある。水の流れる音が聞こえ、様々な種類の観音様が並んでいる。さらに奥の方に入ると滝があり、とても気持ちの良い場所になっている。また、滝の修行場にも使われており隠れた名所となっている。しかし、郡司さんのような人も見られず、看板の表記もすべて日本語であったため外国人観光客などが訪れた際には困る点も多くあるのではないかと感じた。

④ 川



自然がたくさんある都農町を散策して見つけた川と河川敷の風景。当日は天候にも恵まれたため川の中の魚を見つけることができた。

⑤ にわとり



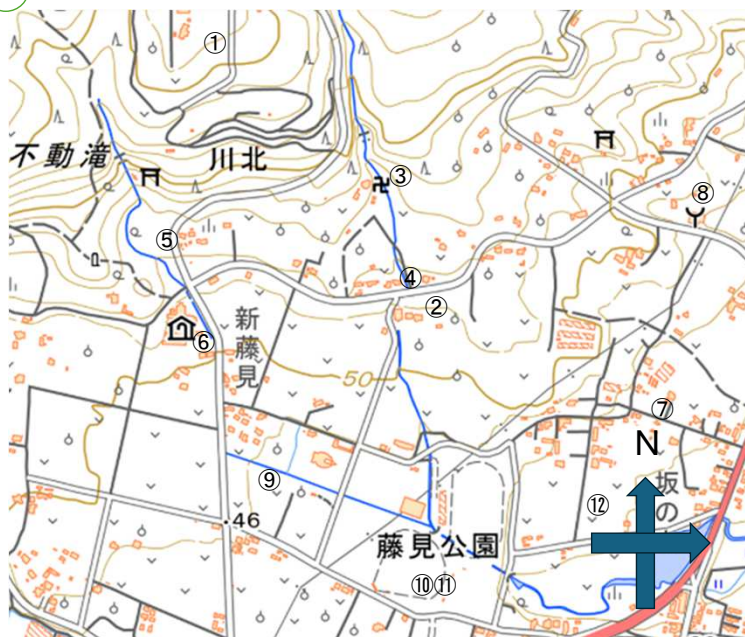
星の時間に家から出てくる鶏を発見した。策で囲われていた様子はなく、近くに人も見当たらず放し飼いの状態であった。生き物が自由に育つことができるほど安全な土地であるのだと感じた。しかし、この近くの道路では大型の車が通っており鶏が轢かれてしまうかもしれないと危険に感じた。もう一度同じ場所を通した時にはいなかったため、星頃に一時的に放し飼いをしているのかもしれない。

⑥ 老人ホーム



ここは養護老人ホームの愛寿園。愛寿園前にはコミュニティバス停があり、買い物などの移動手段には困ることはないだろう。

17班 地域資源マップ



⑦ 危険標識



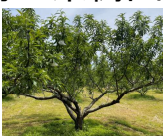
自分たちが歩き回った範囲では左上のような注意書きがいたるところにあって多い印象を受けた。振り返ってみると、広めの道路でも信号がほとんどなかった。信号を必要としないくらい通行量だからこそ、事故防止に熱心に取り組んでいるのだと思う。また、右上のような風によって倒された木がそのままになっていたのでもう一つ、そこにも気をつける必要があるのだと思う。

⑧ 分遣所



ここは都農分遣所。町の小さな消防署の役割をしており当日車庫には救急車や消防車が並び、町の平和を静かに見守っているような感じがした。まさに町の守護神ともいえる大きな存在であることに間違いはない。

⑨ 梅の果樹園



都農町出身の梅農家さんにお話を聞いた。熊本県の阿蘇に20年住んでいたが、実家が梅を栽培していてその仕事を継ぐために2年前に家族でUターンしてきた、新規就農者であるそうだ。都農町の良いところは、自然が豊かなところで、24時間営業のトライアルがあるおかげで必要なのはすべて揃うので、問題なく住みやすいところだそうだ。

⑩ 藤見公園



自然豊かな広場のほかにサッカー場や野球場、陸上競技場、テニスコートなどの多くのスポーツをプレイするための場所がNPO法人によって管理されている。小学生や中学生がクラブ活動をする際に施設を利用したり、高齢の方がゲートボールをしに訪れたりなど老若男女問わず多くの方が日常的に利用している。

⑪ ふじみ市



年に2回ふじみ公園でマルシェが開かれている。主催の方に話を聞くと、この場所は以前まで木が生い茂っていたらしい。町内外から陶器やアクセサリ、多国籍料理などが出店されていた。また、マルシェの利用者には高齢者から子供連れの家族までみられた。主催の方がごみ拾いをしていたり、出店者の方がごみを受け取ってくれたりして広場が綺麗に保たれていた。一方で、来場者が年々減少していることや競技場にいる人はあまり利用しないなどの問題もかかっている。

⑫ 地鎮祭



建物を建てる前に、その土地を守っている氏神様から土地を利用する許可を得る儀式的準備がされていた。歩き回っていると、新しく建てられた家や子供用の自転車などが想像していたより多く見受けられたので、若者や若年層の家族も多いのではないかと感じた。

コメント

〈古賀〉

私は今回の実習で初めて都農町に訪れたが、強く感じたこととして自然をうまく利用して自然と共生していると感じた。今回見つけた様々な施設や企業が自然の景観を崩さないように建てられている。また、今回の実習日に開催されていたふじみ市で販売されていた商品の中には、自然界の不要木材や貝殻などを利用しており、これらは地域の特色を利用しているとともに再利用することで環境に対してエコな活動であると感じた。今回の実習では、天気にも恵まれてスムーズに情報収集やインタビューを行うことができたが、季節や天気などの条件を変えてまた調べることでコミュニティのつながりなどまた異なる発見ができるのではないかと感じた。

〈野元〉

今回の実習を通して私は都農町に初めて足を運び、講義の一環として地域を回ったが自然をうまく活用したワイナリーや公園での市場など地域コミュニティにおいて非常に重要な役割を担っている箇所がたくさんあり、それを商品としての売り買いだけの場面のみにならず人と人をつなぎ、その場のコミュニケーションにとどまらずことなく「つなぐ」ツールとしての役割があることが分かった。まだ私たちの班の実習範囲外の箇所にもこのような地域資源があるのだろうなと思うと活用の幅や範囲は広いのだなとも感じた。山や川などの大自然に囲まれた都農町の実習を有意義なものにできて良かった。

〈石井〉

今回この地区を歩いて、純粋に人口の比率が想像していたより良いと思った。新しくできた家には、子どもが遊ぶ用具が玄関のところにあってあったり、藤見公園にはサッカーや野球をしている子供たちが多くいて、このあたりに住んでいる人の広場としてしっかり機能していると感じた。ふじみ市には、赤ちゃんも来ていたり、英会話のスクールもあって、これからまだまだ盛り上がるイベントだと思ったし、この地域も発展していくのだろうと思った。また、都農ワイナリーまで歩いて行ったことで、自然を身近に感じることができたり、山の上から地域を引きで見ることもできたりして、都農町をまだまだ少しではあるけど、肌で感じることもできた。

〈三種〉

今回の実習で土曜日だったり、ふじみ市が開かれていたりしたこともあるが、この地域には子供が多いという印象を受けた。地元の方に聞き込みをして、Uターンしてきた方や移住してきた方が多くいた。ふじみ市や都農ワイナリー周辺以外の場所は人があまり見られなかったが、運動公園や遊べる場所があるこの地域は子育てしやすい場所なのかもしれない。また、多くの果物が栽培され、牛や鶏などの家畜も飼われていた。人だけではなく、植物や動物も生き生きと育つことのできる地域なのだと思う。実習に行く前は何もなかったところだと思っていたけれど、地域の地形や気候などの特徴を生かした取り組みがなされていることを知った。